

小松杏里のくるめ演劇塾・本期間／講師紹介

●塾長・常任講師

小松杏里(こまつ あんり) ※全コース

76年、演劇舎螳螂(とうろう)結成、80年代小劇場ブームの中で人気を博す。螳螂解散後、演劇プロジェクト月光舎を組織、北九州演劇祭参加やソウル公演なども行う。2003年より3年間、福岡の専門学校に赴任し、九州の演劇界との交流を持つ。2015年、久留米シティプラザのドラマーツ・ディレクターに就任。久留米市在住。

●カリキュラムアドバイザー・特別講師

齋藤豊治(さいとう とよじ) ※全コース

桐朋学園演劇科を卒業後、劇団音楽座に参加。89年、久留米市に移住後、久留米市民音楽劇「悲劇の天才画家・青木繁」、筑後市民ミュージカル「彼方へ、流れの彼方へ」などの演出、こどものための表現教育「えんげきひろば」の立ち上げなど、地域の芸術文化振興に積極的に取り組んでいる。現在、九州大谷短期大学教授。

●特別講師

佐藤 信(さとう まこと) ※全コース

久留米シティプラザ芸術参与。68年、劇団黒テントの創立に関わり、80年代より東南アジアを中心に海外の演劇との交流を深める。演劇活動のほか、オペラ、舞踊、人形芝居、ショーやレビューと、さまざまな分野の舞台作りに参加。世田谷パブリックシアター芸術監督、東京学芸大学教授を経て、2009年より座・高円寺芸術監督。

●ジュニアコース講師

吉柳佳代子(きりゅう かよこ)

飯塚市出身。九州大谷短期大学講師。ドラマティーチャー・インプロバイザーとして九州を中心に活動。演劇と教育、表現とコミュニケーションをキーワードにワークショップを展開する。対象は幼児から高齢者まで幅広い。

青柳達也(あおやぎ たつや)

佐賀市出身。17歳で渡米。米国アラスカ大学、デルラテ身体演劇専門学校、タウソン大学院で演劇研究を続け、セーラム州立大学助教授に就任。2008年に佐賀市に戻り、「幕末・維新佐賀の八賢人おもてなし隊」代表、「さがドラマスクール」主宰、「多久ミュージカルカンパニー」副代表として、地域に根ざした演劇活動を実践中。佐賀大学非常勤講師。

大福 悟(だいふく さとる)

高校時代に劇団『芝居問屋夢の工場』を旗揚げ。解散後、プロデュース公演や劇団の公演など、北九州を中心に幅広く活動し、高校演劇やカルチャーセンターなどでワークショップや演劇教室も積極的に展開。現在は代表を務める『劇団C4』で新人育成にも力を入れている。

●ユースコース講師

高野桂子(たかの けいこ)

大分県日田市出身。女優・ひた演劇祭プロデューサー。福岡講倫館高校非常勤講師。日田三隈高校演劇部から九州大谷短大表現学科卒業後village80%に在籍、現在フリー。演劇ワークショップや演出も手がけるなど多角的に活動している。

●アテインコース講師

川口大樹(かわぐち だいき)

劇団万能グローブガラパゴスダイナモス脚本・演出家。暗転なし、リアルタイム一幕コメディを得意とし、人間同士の会話、そのズレから起こる関係性と張り巡らせた伏線の「笑い」にこだわったシチュエーションコメディの作風で幅広い観客層から支持を得ている。

池田美樹(いけだ みき)

劇作家・演出家。劇団きらら代表。熊本市出身。1985年、劇団きらら旗揚げ以降、公演活動・ワークショップ講師・イベント演出など多方面で活動。2015年、北海道戯曲賞優秀賞受賞。日本劇作家協会会員。ものづくりの信条は「美しいのに愛嬌もあり」。

●プラ座コース講師

今村貴子(いまむら たかこ)[イマ☆タカ]

九州大谷短期大学演劇放送コース卒業。北九州で8年役者修行をした後、dancerに転向。地域各所の文化施設・商店街と提携しながら地域の特色を活かしたイベントプロジェクトを行う。イマ☆タカDance Family代表。元東筑紫学園高等学校非常勤講師。